

JACDS ダイレクトニュース

発行：日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

2020年5月 調剤の伸び率 鈍化

経産省は6月29日、2020年5月分の商業動態統計(速報)を公表しました。

2020年5月のドラッグストア販売額は 6,069 億円、前年同月比で見ると 6.4%の増加となっています。販売額全体では新型コロナウイルス感染拡大の影響はやや落ち着きをみせてきたといえます。ただ個別にみるとヘルスケア用品と食品の伸びが高く、化粧品の落ち込みが依然として目立っています。

商品別にみると、ヘルスケア用品(衛生用品)・介護・ベビーが同 28.5%の増加、食品が同 20.7%の増加、その他が同 12.5%の増加、家庭用品・日用消耗品・ペット用品が同 11.1%の増加、調剤医薬品が同 2.9%の増加、トイレタリーが同 2.7%の増加となりました。

一方、ビューティケア(化粧品・小物)が同▲18.5%の減少、健康食品が同▲6.3%の減少、OTC医薬品が同▲5.2%の減少となっています。

■2020年1～4月 ドラッグストア商品別販売金額(対前年同月比 増減)

(単位：%) 5月のみ速報値

2020年	1月	2月	3月	4月	5月
総売上	6.3	19.1	7.6	10.8	6.4
調剤医薬品	11	16.7	10.8	11.2	2.9
OTC医薬品	0.8	18.1	▲5.3	▲1.1	▲5.2
ヘルスケア用品(衛生用品)・介護・ベビー	21	46.9	15.1	18.3	28.5
健康食品	7.6	13.4	▲4.3	▲3.9	▲6.3
ビューティケア(化粧品・小物)	2	3	▲10.2	▲15.4	▲18.5
トイレタリー	4.3	14.7	3	5.4	2.7
家庭用品・日用消耗品・ペット用品	5.1	30.8	18.9	20.2	11.1
食品	7.8	17.9	18.2	27.2	20.7
その他	▲0.0	11	5.6	9.4	12.5

経済産業省 商業動態統計速報 2020年6月29日

2020年5月の調剤の伸びは大幅に鈍化しています。前年同月比で伸び率が2%台まで落ち込んだのは前回の診療報酬改定された2018年9月以来となります。商業動態統計の月別の調剤医薬品は、調剤月とは異なります。従って新型コロナや診療報酬改定の影響が、調剤医薬品にできるのは5月以降からといえます。

(文責：横田)

日本チェーンドラッグストア協会 事務局

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階
TEL. 045-474-1311 FAX. 045-474-2569